

ダイレクトステンレスボトル470ml
ダイレクトステンレスボトル600ml
取扱説明書（表面＋中面）

- 取扱説明書サイズ／210×150mm※2つ折り
- 材質／コート紙（厚さ／130g/m²）
- 2色印刷／Black、PANTONE 206C

取扱説明書／表面

品質表示	
品名／ステンレス製携帯用まほうびん	
470ml ■製品サイズ(約)／幅86×奥行80×高さ227mm ■実容量／0.47L ■保冷効力／9度以下（6時間）	600ml ■製品サイズ(約)／幅90×奥行83×高さ246mm ■実容量／0.6L ■保冷効力／9度以下（6時間）
■材料の種類／内びん：ステンレス鋼、胴部：ステンレス鋼（アクリル樹脂塗装）、口金：ステンレス鋼 飲み口：ポリプロピレン、キャップ：ポリプロピレン、ベルト：ポリエステル パッキン・底キャップ：シリコーンゴム	

■保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をキャップユニットの下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度の時から6時間放置した場合におけるその水の温度です。

■内びんに“赤さび状の斑点”や“水あか”が発生した場合には・・・

使用により、内びんに“赤さび状の斑点”が発生したり“水あか”が付着して変色することがあります。これは、水に含まれる鉄分が酸化して“赤さび状の斑点”が発生したり、水質による不純物の作用で発生した“水あか”が付着しているものですが、いつも清潔にお使いいただくためには、次のようなお手入れ方法をお勧めします。

①キャップユニットを取り外した状態で、内びんに食酢を約10%加えた湯を入れ、約30分放置した後、柄の付いた柔らかいブラシ等で内びんの内壁をよく洗ってください。
②洗い終った後は、食酢が残らないようにきれいな水でよくすすぎ、水気を十分に拭き取って乾燥させてください。

「故障かな？」と思ったら

次の項目について点検をおこなってください。

症状	点検するところ	処置
飲料物が・・・	飲み物を入れすぎではありませんか？	飲み物は規定の量以上は入れないでください。
●キャップユニットから漏れる。	キャップユニット・フタを確実に閉めていますか？	確実に閉め、ロックも確実にしてください。
●フタから漏れる。	パッキンは正しく取り付けられていますか？	パッキン類を確実に取り付けてください。

●キャップユニットとパッキン類は消耗品です。1年を目安にご確認ください。

●この製品のパッキン等の替えパーツは下記にて購入可能です。

パール金属株式会社 企画部消費者係 〒955-8588 新潟県三条市五明190番地 TEL.0256-35-3117
<https://www.captainstag.net/contact/> 受付時間 9:00～12:00・13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書はいつでも再読できるように大切に保管してください。

※商業施設での使用やレンタル業などで使用しないでください。不特定多数の方が使用されるため、責任を負いかねますのでご了承ください。

※製品改良のため外観および仕様は予告なく変更することがあります。
※レンタル等による貸出し、オークション等による転売や中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などにつきましては、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

この度は、当社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■製品に関してお気づきの点、ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

販売元

株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1
【お客様相談窓口】フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

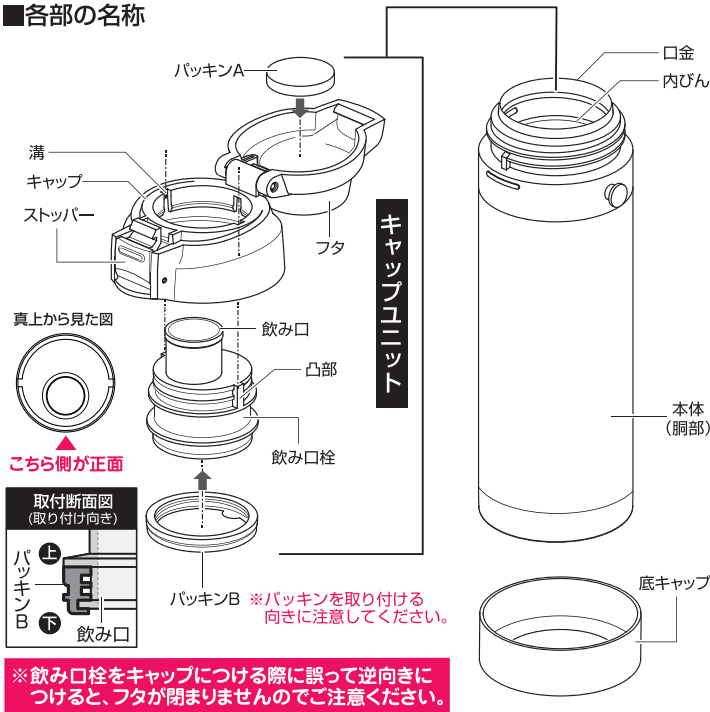


ダイレクトステンレスボトル
取扱説明書

保冷専用

やけどの恐れがあるため熱いものは入れないでください。

■各部の名称

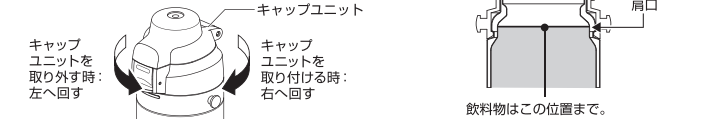


取扱説明書／中面

■ご使用方法 ※ご使用前に、内びん・キャップユニットをよく洗浄してください。

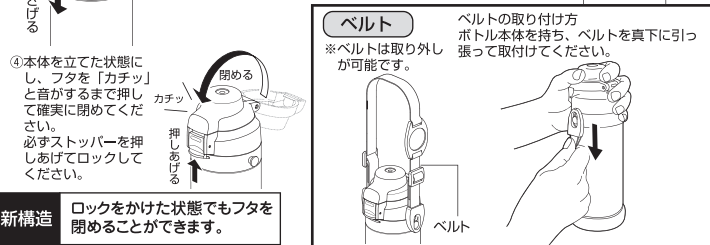
飲料物を入れる時は・・・

- ①キャップユニットを左に回して取り外し、本体（内びん）に飲料物を入れてください。
※飲料物の量は、本体肩口より少なめにしてください。
- ②キャップユニットを右に回してしっかりと閉めてください。



飲料物を飲む時は・・・

- ①ストッパーを下に押し、ロックを解除します。
- ②ストッパー上部凸部を押すとフタが開きます。フタを完全に開ききってください。
※フタの開閉の勢いで、少量の飲料物が出る場合がありますのでご注意ください。
- ③両手で本体をしっかりと持ち、飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲んでください。



新構造 ロックをかけた状態でもフタを開めることができます。

■お手入れ方法 ※におい移りを防いでいつまでも清潔にご使用していただくため、使用後は早めにお手入れしてください。

- | 内びん・キャップユニット | 本体(胴部)・ショルダーベルト | 保管について |
|--|---|--|
| ①食器用洗剤をスポンジ等につけてよく洗浄します。
②水気を十分に拭き取って自然乾燥させてください。
※内びんは、洗浄して水気を十分に拭き取った後、キャップユニットをしないで自然乾燥させてください。 | ①お湯で濡めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞って汚れを拭き取ります。
②柔らかい布でから拭きしてください。
△注意：本体を丸洗い(つけ置き洗い)したり、食器乾燥機や食器洗い乾燥機に入れたりしないでください。 | ①お手入れが終わったら、本体にキャップユニット・フタをしっかりと閉めます。
②直射日光や高温多湿を避けて、屋内の乾燥した場所に収納・保管してください。 |

■飲み口栓 取り外し・取り付け方法

飲み口栓は「カチッ」と音がするまで押して、確実に取り外しや取り付けをしてください。

※キャップに取り付ける際は、飲み口栓の向きにご注意ください。

※キャップユニット・パッキン類・フタ等は、正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと漏れる等の原因になります。



△使用上の注意：必ずお守りください。

この製品は保冷専用です。飲料物の保冷以外には使用しないでください。

- | | | |
|--|---|--|
| ●飲料物は、本体肩口より少なめにしてください。入れすぎると、キャップユニットを閉める時にあふれ出たり、漏れる恐れがあります。 | ●転倒・落下・ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。本体がへこんで保冷効力が低下したり、変形・破損・漏れなどの原因になります。 | ●携帯の際(特に車載したり、リュック・バッグ等に入れて携帯する場合)は、万一の漏れを防ぐために必ず本体を立てた状態にしてください。また、倒れたり、落下したりしないように十分注意してください。車内等の汚損につきましては、弊社では補償いたしません。 |
| ●ストープやコンロなど、火気に近づけないでください。樹脂部の変形・変色の原因になります。 | ●丸洗いはできませんが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。内部に水が浸入して、錆・故障・他の物を汚すなどの原因になります。 | ●乳幼児の手の届く所に置かないでください。また、いたずらには十分注意してください。 |

- 本製品は保冷専用です。熱い飲料物はいれしないでください。火傷などの恐れがあります。
- キャップユニットおよびフタは確実に閉めてください。また、パッキンを必ず確認してください。閉め方が不十分だったり、パッキンが正常に付いていないと、漏れる原因になります。
- 本体を傾けた状態で、ストッパーやキャップユニットを操作しないでください。飲料物があふれ出る恐れがあります。
- 本体を丸洗いはできませんが、必ず水分を拭き取ってください。拭き取らないと、水滴のあとが残ったり錆や他の物を汚す原因になります。
- 電子レンジでは使用しないでください。電子レンジの故障や、変形して漏れる原因になります。
- キャップユニット・パッキン類・フタ等は、煮沸や高温乾燥しないでください。変形して漏れる等の原因になります。
- 冷凍庫には入れしないでください。保冷効力が低下したり、破損・漏れなどの原因になります。
- 次のような物は絶対に入れないでください。
※ドライアイス・炭酸飲料。
(内圧が上がってキャップユニットが開かなくなったり、内容物が吹き出る恐れがあります。)
※牛乳・乳飲料・果汁等。(腐敗や変質の恐れがあります。)
※みそ汁・スープ・スポーツ飲料等の塩分を含んだ物。(錆の恐れがあります。)
- 車等の走行中は使用しないでください。車内や衣服を汚す恐れがあります。特に運転者の場合は、運転への注意が散漫になり非常に危険です。

△ご注意とお願い

- 氷を入れる場合には、最初に飲料物を入れ、次に氷を静かに入れてください。
- 大きな水を入れる場合は、たたいたり無理に押し込んだりしないで、必ず小さく砕いてから入れてください。
- 使用状況により、本体上部や飲み口部に結露(空気中の水蒸気が凝縮して水滴となって付着する現象)が生じることがあります。他の物が濡れないように注意してください。
- お茶を長時間入れておくと、お茶に含まれる成分の影響でお茶の色や風味が変わることがあります。人体には影響ありませんので、早めにお召し上がりください。

△お手入れ上の注意

- 食器洗い機や食器洗い乾燥機等の使用は避けてください。また、食器洗い機用の洗剤は使用しないでください。損傷・変形・錆などの原因になります。
- さらし粉等の塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属たわし・みがき粉・クレンザー等を使用しないでください。変質や傷・錆や穴があく等の原因になります。
- 使用により本体の塗装は徐々に劣化してきますので、塗装がはがれたりした場合には取り除いてから使用してください。